

考えて

仙台

戦争法に反対する高校生たちのグループ「T-n s SOWL (ティーンズソウル)」が21日、仙台市青葉区で高校生デモを行い、200人が参加しました。日本共産党の、いわぶち彩子参院宮城選挙区候補も参加しました。

出発前集会で高校1年生のせいなさん(16)が「18歳選挙権ができて、高校生が政治について学び行動することが大事になっています。正しいことは正しい、間違っていることは間違っていると声を上げ続けたい」と訴えました。

応援に駆け付けたシールズ東北の久道瑛美さん(大学2年生)は「野党5党が安保法制廃止法案を提出し選挙協力で一致したというニュースは朗報です。市民の草の根の行動の結果です。この波を広げるためにも頑張っていきましょう」と呼びかけました。

日本共産党、社民党、民主党の議員や候補者があいさつすると、会場から「野党は共闘」と何度もコールが上がりました。

デモではドラムのリズムに合わせて「戦争したがる総理はいらない」「戦争法は絶対反対」とアピールしました。

福岡

全国一斉高校生デモと連帯して福岡市では「0221 安保法制に反対する高校生×大学生街頭アピール」が21日、繁華街天神で行われました。

主催したのは福岡県の大学生らでつくるFYM (Fukuoka Youth Movement) と、佐賀県の高校生の団体、YTYM (Young Think, Young Move@SAGA)。2団体のメンバー10人に加え、賛同する市



戦争法廃止のコールに声を合わせる高校生、大学生ら=21日、福岡市

戦争法廃止へ高校生「野党は共闘」これしかない



戦争法に反対してデモ行進する高校生たち=21日、大阪市で戦争法に反対する高校生たちが開催したデモ行進=21日、仙台市青葉区

声上げ

大阪

戦争法に反対し、今夏の参院選に向け運動を盛り上げようと、高校生が呼びかけたデモが21日、大阪市で行われ、400人が参加しました。主催は、西日本の高校生でつくるT-n s SOWL west (ティーンズソウル・ウエスト)と京都のスクール・オブ・デモクラシー。首都圏のT-n s SOWLが呼びかけた「全国一斉高校生デモ」の一環です。

参加者は、サウンドカーに乗った高校生を先頭に「強行採決思い出そうよ」「野党は共闘」「僕らの暮らしと権利を守れ」などと唱和。6月に選挙権を得る男子高校生(17)=京都

18歳選挙権生かし

府京田辺市=は「野党共闘が動き始めた。次の選挙で安保法制に賛成した議員を落選させ、民主主義を取り戻そう」とスピーチ。高校生の政治活動を制限する文科省の通知に「選挙は行っても政治には口を出すなどということか」と憤りました。

出発前集会では、日本共産党の清水忠史衆院議員、民主党の尾立源幸参院議員、社民党の酒井弘行大阪府連副代表があいさつ。日本共産党の、わたなべ結参院大阪選挙区候補が活動の合間に沿道へ駆けつけ、参加者にエールを送りました。

選挙に行く

民主主義取り戻そう!

民やママの会のメンバー、ネットで行動を知った高校生など約40人が駆けつけ、リレートークやコールで戦

争法廃止を訴えました。FYMの崔春海さん(20)は、戦争法廃止法案提出や5野党党首会談で野党共闘へ道が開かれつつあるとのべ「一人一人のうねりを広げ、国会の動きを超えるようなもっと大きなうねりを現政権にたたきつけたい。自由に考え、発言して、選挙に行く、もうこれしかない」と話しました。

YTYMの浅川きららさん(17)は「強行採決を見て恐怖を感じた。若者の役目は平和の尊さを伝えていくこと。安保法について国民全員で考えていくべきだ。今年から18歳選挙権。若者が投票所に足を運ぶよう背中を押していきたい」と語りました。

コールに足を止めた市内の会社員、花堂渡さん(26)は「参院選で野党が一致団結すれば、有権者から分かりやすくなる。戦争法を止める候補に投票したい」と語りました。